

# 1 地域委員会活動の促進

## (1) 推進会議の開催

地域支援職員制度実施要綱第8条により、支援チーム間の連絡調整及び情報交換を行うため、支援職員を対象に推進会議を下記のとおり開催しました。

- 開催日時 平成28年9月1日(木) 午後3時00分～午後4時30分  
開催場所 総合福祉会館 3階会議室  
参加者 44名  
内容
- ・地域委員会制度と地域支援職員制度の説明
  - ・地域委員会活動の関わり(2地域から事例発表)
  - ・グループワーク①(他地域)  
事例発表も踏まえて、支援職員がどのように地域委員会の活動に関わっているのか。  
また、自分がどの部会に属して、どのような活動をしているのか。
  - ・グループワーク②(同地域)  
他地域で交流した内容を出し合い、担当する地域の課題について、どう解決すべきか交流してください。

## (2) 部会別交流会の開催

部会別に交流会を行うことにより、気づきを発見していただき、より良い活動につなげていただこうと各地域委員会において各部会1名の出席をお願いし、部会別交流会を下記のとおり開催しました。

- 開催日時 平成28年10月3日(月)  
午後7時30分から  
開催場所 関市役所6階 大会議室  
参加者 64名  
内容
- ・地域委員会制度の説明
  - ・部会別交流会
  - ・発表



### 交流会で出た意見

- ・総務部会→ラインやフェイスブック等のSNSが有効。特に若い人に情報発信していきたい。
- ・スポーツ部会→武芸川地域で開催したバスケが好評だった。  
スポーツをからめた婚活を開催してみたい。
- ・福祉部会→県下で毎週のように婚活イベントを開催しているので、地域外から集めるのは大変。  
田原マップを作成するのに協賛を得た。
- ・安全部会→防災・減災意識の向上をするため、防災講演会を開催した。  
防災啓発用のオリジナルウォーターを製作し、各家庭に災害用として配布する。

## 2 まちづくり講演会の開催

自治基本条例制定後、協働のまちづくりを推進するため、毎年、関市まちづくり講演会を開催しています。

今年度は、日本のどこにでもありそうなどかな田舎の町で、「葉っぱビジネス」で大成功を収められた、仕掛人の横石先生をお招きし、地域資源を活かしたまちづくりを学びました。

関市まちづくり講演会  
葉っぱで年商2億6千万円  
山あいの町に仕事ができる!  
彩(いろどり)の仕掛け人  
(株)いろどり代表横石氏  
のお話が聞ける!  
とき 2/18(土) 13:30~  
ところ 武蔵川生涯学習センター  
演題 「一枚の葉っぱから生まれた幸せ」  
～居場所と出番づくり～  
(株)いろどり 代表取締役  
横石 知二氏  
参加費 無料!!  
主催：関市 共催：関市市民活動センター  
お問い合わせ：関市役所企画部市民協働課 TEL0575-23-7711(直通)

回数	期 日	演 題	講 師
第1回	平成27年3月13日	「市民が主役のまちづくり～いま、私たちがすべきこと～」	東京大学名誉教授 大森 彌 氏
第2回	平成28年3月13日	「実践に学ぶ！ 地域を支え輝かせるまちづくり」	高崎経済大学地域政策学部 大学院教授 櫻井 常矢 氏
第3回	平成29年2月18日	「一枚の葉っぱから生まれた幸せ～居場所と出番づくり～」	(株)いろどり代表取締役 横石 知二 氏

## 3 関市自治基本条例普及啓発

本年度も市の職員等が講師となり、皆さんの地域に出向く出前講座を実施しました。

学校教育課と連携をとり、中学校の公民の授業で行いました。平成28年度は、下有知中学校で開催、市長も講師を務められ、生徒から大変好評をえました。

他に緑ヶ丘中学校と関高校を予定していましたが、緑ヶ丘中学校は、スケジュールがとれず、関高校は、台風で中止となりました。



日 時		団 体	参加者数	場 所
平成28年11月30日	10:45	下有知中学校3年生	76人	下有知中学校



◆関のソーシャルビジネスプレゼン大会

1月28日（土） 参加者51名

2回の中間発表を経て、プレゼン大会を開催しました。

5名が登壇し、10分間の発表を行い、審査員からのコメントを頂きました。

審査員の方々からは、するどい指摘や、登壇者を支援するような温かい言葉を頂きました。

子を産み育てる母親へのサポート体制を関市で作り上げる熱意と現状を強く訴えた方が優勝されました。



◆川北秀人さんと一緒に岐阜で小規模多機能自治の自主勉強会 in 関

2月4日（土）

IIHOE代表の川北秀人さんをお招きして、市内外の地域委員会の方々や、勉強会に興味を持たれた方と一緒に小規模多機能自治について勉強しました。川北さんからは、これまでの20年とこれからの20年とでは、高齢化の速度が格段と違って来る。地域の方にこの現状を理解していただくには、「情と言葉ではなく、データで説得すること」や、「地域を外側から見ること」が大切だとお聞きしました。

